

大津市議会BCPの見直しに係る正副委員長(案)について

	党派名	区分	現行の規定	改正・追加(例)	理由	提案に対する各党派の意見	新湖市公共				正副委員長(案)	
							○	×	△	修正		
1	新和会	変更	「大津市議会災害対策会議(以下「災害対策会議」という。)を設置する。」(3ページ) 他	「大津市議会災害対策会議」を「大津市議会業務継続会議」という名称に変更する。	P3冒頭にもあるように災害対応に実質的かつ主体的に当たるのは危機・防災対策をはじめとする行政の関係課であり、議会が主体的な役割を果たすわけではない。 そうであれば、現状の「大津市議会災害対策会議」という名称は、あたかも議会が災害対策をするかのよう誤解される。BCPはあくまで業務継続計画であるので「大津市議会業務継続会議」と変更するべきである。	賛成・・・新和会、湖誠会、市民ネット21、公明党 反対・・・共産党 【主な意見】 賛成 ・適切な名称である【公明党】 反対 ・議会としての災害時の対応である業務の継続について検討するので変更する必要がない【共産党】	○	○	○	○	見直しを行う	
2-1	新和会	削除	「(ハ)議会局と議会局職員の通信端末機器が全て使用できない場合「検討課題」通信機器が全てダウンすることを想定し、衛星電話や防災無線など議会独自の連絡体制を確保する必要がある。」(11ページ) 他)	議会局と議会局職員の通信端末機器が全て使用できない場合、検討課題として、衛星電話や防災無線など議会独自の連絡体制の確保を検討する(P11)とあるが、通信端末機器の回線が回復してから、議員の安否確認を行うとする。	議会局と議会局職員の通信端末機器が全て使用できないような、全市的に混乱が生じている状況においては、人命救助等の優先すべき活動があることが予想される。まずは、そちらを優先すべきである。	賛成・・・新和会、湖誠会、市民ネット21 反対・・・共産党 修正・・・公明党 【主な意見】 反対 ・通信端末機器が使えないような緊急時を想定した連絡体制の整備に向けて調査研究を行い、何らかの手段確保に取り組む必要がある【共産党】 修正 ・ここでは通信端末機器について触れているので、通信端末使用について触れた方が良いと考える。【公明党】 修正提案 (ハ)議会局と議会局職員の通信端末機器が使用困難な場合 「検討課題」一般スマホ衛星通信の進歩もあるが、災害時の公衆網は輻輳や被災が懸念される。議会機能維持のため、公衆網から独立した連絡体制(衛星電話、防災無線等)を確保し、通信手段の多重化を図る 修正案理由 ・「全て使用できない場合」という表現を「使用困難な場合」と、より現実的な表現に変更 ・「通信機器が全てダウンする」という旧来の想定から、「一般スマホ向け衛星通信を含めた公衆網が輻輳・被災する」という、新しい技術を踏まえた上でのリスク想定に更新 ・「確保する必要がある」の結論は変えず、その理由を「公衆網から独立した」「通信手段の多重化」というBCPの基本原則に基づき明確化する	○	○	△	×	現行のとおりとする	
2-2	日本共産党 大津市議会議員団	変更	「検討課題」通信機器が全てダウンすることを想定し、衛星電話や防災無線など議会独自の連絡体制を確保する必要がある。(11ページ)	通信機器が全てダウンした場合には、議会独自で保有する携帯無線機にて連絡体制を確保する。(各党派に1台もしくは議員の居住地域ごとに1台)	速やかに独自の連絡体制を整備すべきであるため	賛成・・・共産党 反対・・・新和会、湖誠会、市民ネット21 修正・・・公明党 【主な意見】 反対 ・通信機器が全てダウンする状況は市内外に相当の混乱が生じていることが予想される。 通信機器が復旧後に速やかに連絡を行い、対策会議をすばいよいのではないかと【新和会】 ・通信機器のダウンは短いので、その間緊急に連絡を取る必要はない【湖誠会】 修正 【修正案】(新和会案に対する) ・(ハ)議会局と議会局職員の通信端末機器が使用困難な場合 「検討課題」一般スマホ衛星通信の進歩もあるが、災害時の公衆網は輻輳や被災が懸念される。議会機能維持のため、公衆網から独立した連絡体制(衛星電話、防災無線等)を確保し、通信手段の多重化を図る。【公明党】	×	×	×	△	○	現行のとおりとする
3-1	新和会	削除	「9 計画の運用(3)携帯ハンドブック 計画について常に確認し、迅速な対応に備えるため、必要となる組織体制や行動基準などをまとめた携帯ハンドブックを作成する。」	携帯ハンドブックの作成・配布をしない。	携帯ハンドブックは、災害時の行動基準の参照のために議員及び議会局職員が常に携帯するものとして作成されたが、スマホやタブレットでBCP自体をホームページやサイボウズで閲覧可能であるため、不要である。	賛成・・・新和会、湖誠会、市民ネット21 反対・・・共産党 修正・・・公明党 【主な意見】 反対 ・災害時の行動基準について速やかに確認できるよう携帯ハンドブックの内容を閲覧ができるように毎年更新して掲示すべき 【共産党】 修正 ・(3)携帯ハンドブック 計画について常に確認し、迅速な対応に備えるため、必要となる組織体制や行動基準などをまとめた携帯ハンドブック(電子版)を作成する。本ハンドブックは、各議員及び議会局職員が使用する端末機器にあらかじめダウンロードし、通信環境に依存せず常時閲覧可能な状態を確保するものとする また、携帯ハンドブックの内容は、計画の見直し等に基づき少なくとも年1回は更新し、併せて各端末で最新版が閲覧可能な状態にあるか確認を行うものとする【公明党】	○	○	△	×	現行のとおりとする	
3-2	日本共産党 大津市議会議員団	追加	(3)携帯ハンドブック 計画について常に確認し、迅速な対応に備えるため、必要となる組織体制や行動基準などをまとめた携帯ハンドブックを作成する。	(3)携帯ハンドブック 計画について常に確認し、迅速な対応に備えるため、必要となる組織体制や行動基準などをまとめた携帯ハンドブックを作成し、毎年更新して確認を行うこと。	職員体制や会派の体制も変わることから毎年更新の必要があるため。	反対・・・新和会、湖誠会、市民ネット21 修正・・・公明党、共産党 【主な意見】 修正 ・(3)携帯ハンドブック 計画について常に確認し、迅速な対応に備えるため、必要となる組織体制や行動基準などをまとめた携帯ハンドブック(電子版)を作成する。本ハンドブックは、各議員及び議会局職員が使用する端末機器にあらかじめダウンロードし、通信環境に依存せず常時閲覧可能な状態を確保するものとする。 また、携帯ハンドブックの内容は、計画の見直し等に基づき少なくとも年1回は更新し、併せて各端末で最新版が閲覧可能な状態にあるか確認を行うものとする【公明党】 ・携帯ハンドブックについては、タブレットやスマホなど通信機器で確認が行えるよう、検索しやすく掲示することや、通信機器が使えなくなることを想定し、紙媒体での所持が可能となるようにする必要がある【共産党】	×	×	×	△	△	現行のとおりとする

大津市議会BCPの見直しに係る正副委員長(案)について

	党派名	区分	現行の規定	改正・追加(例)	理由	提案に対する各党派の意見	〇:賛成、×:反対、△:修正				正副委員長(案)	
							新	湖	市	公		
4	湖誠会	変更	「議会においては、市危機管理基本計画の各カテゴリーにおける災害対策本部、国民保護対策本部・緊急対処事態対策本部、危機対策本部(以下「対策本部」という。)の設置後、速やかに大津市議会災害対策会議(以下「災害対策会議」という。)を設置する。」 (3ページ) 他	市の災害対策本部の設置後、速やかに大津市議会災害対策会議の設置をすることとなっているが、必要に応じて変更する。	P3冒頭にもあるように災害対応に、議会が主体的な役割を果たすわけではなく、特に災害初期においては、市の職員が初動体制や応急対応に専念できるよう配慮が必要である。そうであれば、市の災害対策本部の設置後、速やかに大津市議会災害対策会議を設置し連携するのではなく、災害対応の状況確認後、必要に応じて設置することすべきである。また、これまで開催された災害対策会議も、被災状況の報告及び議員の安否確認が主であり、議政局職員から配信すればよいと考える。	賛成…新和会、湖誠会、公明党、市民ネット21 反対…共産党 【主な意見】 反対 ・災害の状況によっては市職員が想定された対応ができない状況もあり得る。市議会としてまずは状況把握が必要であり、状況如何によっては市議会としてどう対応すべきかの意思決定が行えるようにすべき【共産党】	〇	〇	〇	×	現行のとおりとする	
5	湖誠会	削除	「携帯電話、タブレット端末等の通信端末機器、筆記用具、飲料水、3日分の食料、軍手、マスク、着替えなど」 ※サバイバルローラーバックを活用」 (7ページ) 他	サバイバルローラーバック自体を不要とする。	災害時における個人の食料等の備蓄品については、市民及び執行部の職員は原則として自ら備蓄しているが、議員、議政局職員のみ、内容物の入替等のランニングコストも含め、税金で備蓄することに理解が得られるか疑問である。 また、バックを長年、議員、議政局職員の自宅等に備えおいておく、私物との混同や汚損、紛失等、適正な管理が難しい面もある。 さらに、議会BCPIは、地震等の発生時、公共交通機関が利用できないことを想定し、徒歩にて参集することを原則としており、その際、サバイバルローラーバックを活用することとしている(P7、P20)が、大規模地震等が発生し、道路その他のインフラが機能していない状況でサバイバルローラーバックを持参し、徒歩にて参集することは現実的ではない。	賛成…新和会、湖誠会、公明党、市民ネット21、共産党 【主な意見】 賛成 ・災害時に個人のみならず緊急の対応に生かすことができると思うが、私物との混同や紛失等管理面の問題や内容物の入れ替えなどのランニングコストなど課題も多く、見直しは必要と考える【共産党】	〇	〇	〇	〇	見直しを行う	
6	市民ネット21	変更	想定する災害(4ページ下段) その他 ・上記のほか、大規模火災などの大規模な事故、原子力災害、大規模なテロなどで、大きな被害が発生した場合、又はそのおそれがあるもの	「大規模火災など」を、「大規模火災や山林火災など」	近年頻発している山林火災については、大規模でなくとも拡大が心配されるため、言及を必要があるため。	賛成…市民ネット21、公明党 反対…新和会、湖誠会、共産党 【主な意見】 反対 ・「大規模火災など」の「など」に含むと考える【新和会】 ・大規模火災の定義はなく、山林火災も含むと考える【湖誠会】 ・山林火災は近年頻発し、地球温暖化の影響もあり、今後もさらに注視すべき災害であるが、大規模化は山林に限らない【共産党】	×	×	×	×	現行のとおりとする	
7	市民ネット21	変更	P9の参集者の初期対応 風水害(台風、暴風、洪水、土砂災害など)	風水害(台風、暴風、洪水、土砂災害など)の後に、「大規模火災」を挿入追加するか、火災に関する新しい列を新規でつくる。	大規模火災は特にありうる災害として、想定していく必要があり、言及が必要ではないか。	賛成…公明党、市民ネット21、共産党 反対…新和会、湖誠会 【主な意見】 賛成 ・風水害(台風、暴風、洪水、土砂災害など)以外に【新規の列】として「火災(大規模火災、山林火災など)」を挿入する【公明党】 ・大規模火災の発生についても想定しておく必要がある【共産党】 反対 ・P19の欄外に「風水害、その他の災害においても、地震編の行動基準に準拠した行動が可能」とあるように、実際は、地震、風水害に準拠して対応していくことでよいのではないかと記載するとしても、P9の欄外に注意書きする程度でよいと考える【新和会】 ・「など」に含まれると考える【湖誠会】	×	×	〇	×	〇	現行のとおりとする
8	市民ネット21	変更	P7 表の右側、携帯品の項目中 携帯電話、タブレット端末等の通信端末機器、筆記用具、飲料水、3日分の食料、軍手、マスク、着替えなど ※サバイバルローラーバックを活用	「通信端末機器」の表現に変更する。	タブレット端末は全員所持の議会標準ではなくなったために、言及する必要性は低くなっているため。	賛成…新和会、湖誠会、市民ネット21 反対…共産党 修正…公明党 【主な意見】 反対 ・タブレット端末等とあり、広く解釈が可能である【共産党】 修正 ・「携帯電話、タブレット端末等の通信端末機器、筆記用具、飲料水、3日分の食料、軍手、マスク、着替えなど」※サバイバルローラーバックを活用」を「通信端末機器、筆記用具、飲料水、3日分の食料、軍手、マスク、着替えなど」に変更する【公明党】	〇	〇	〇	〇	〇	見直しを行う
9	市民ネット21	変更	その他にも、P11、P14、P20、P25～P28、P31に見受けられる「携帯電話、及びタブレット等」の表記について	通信端末機器といった表現に統一すべく変更する。	同上	賛成…新和会、湖誠会、公明党、市民ネット21 反対…共産党 【主な意見】 反対 ・タブレット端末等とあり、広く解釈が可能である【共産党】	〇	〇	〇	〇	〇	見直しを行う

大津市議会BCPの見直しに係る正副委員長(案)について

No.	党派名	区分	現行の規定	改正・追加(例)	理由	提案に対する各党派の意見	○:賛成、×:反対、△:修正				正副委員長(案)	
							新	湖	市	公		
10	日本共産党 大津市議員団	追加	安否確認事項 別添様式1「議員安否確認表」に基づき次の内容を確認する。(11ページ)	安否確認事項 別添様式1「議員安否確認表」に基づき次の内容を確認する。(11ページ) 速やかにTeamsのフォーマットにて返信すること。各種様式はフォーマット化しておく。	記入してファックスで返信するなどの手間を省くため。	賛成…新和会、市民ネット21、共産党 修正…湖誠会、公明党 【主な意見】 賛成 ・防災訓練で安否確認票についてはTeamsで回答を集計している。【新和会】 修正 ・(理由)通信手段はTeamsに限らないため (修正案)速やかにTeamsのフォーマットにて返信すること。 →指定されたフォーマットにて返信すること【湖誠会】 ・内容報告の手段については、通信アプリの変更が考えられるのでTeamsに限定する必要はない 修正としては、別添様式1「議員安否確認表」の様式を「議員及び職員安否確認表」に修正する【公明党】	○	△	○	△	○	現行のとおりとする
11	日本共産党 大津市議員団	追加	(2)議会の防災訓練 …議員と議会局職員を対象とした防災及び減災並びに危機管理に関する研修会又は訓練を毎年1回は実施することが必要である。(38ページ)	(2)議会の防災訓練 …議員と議会局職員を対象とした防災及び減災並びに危機管理に関する研修会又は訓練を毎年1回は実施することが必要である。なお安否確認や議員と議会局との情報共有のためのTeamsでのシミュレーションを年に2回程度行い、確認することが必要である。	1年に1度程度のシミュレーションでは、いざとなった際に使えないということがないよう、繰り返し短時間でも実施するため。	反対…新和会、湖誠会、市民ネット21、公明党 修正…共産党 【主な意見】 反対 ・昨年度の議会運営委員会において基本行動の訓練は年に1回の防災訓練を実施し、改選期にBCPIに対する研修を行うことで決定している【新和会】 ・訓練・研修の実施については議会運営委員会で決めている【湖誠会】 ①情報共有のシステム(アプリ)はTeamsに限らず、見直しも考えられること。 ②「毎年1回は実施すること」とある。この「は」は最低限の基準(下限)を示しているため「毎年最低1回以上は実施する」と読めるため【公明党】 修正 ・改選後には行うことになっているが、Teamsを活用した安否確認や情報共有などについては、操作に慣れる必要があることから短時間でよいので、年に2回以上シミュレーションを行う必要がある【共産党】	×	×	×	×	△	現行のとおりとする